

2月14日、第391回白石市議会定例会で、風間康静市長が施政方針演説を行い、平成23年度の市政運営の基本的な考え方を明らかにしました。

※施政方針は震災前に表明したものです。見直しが必要な事業などありますが、早期に震災前の活力を回復させ、さらなる市民生活の発展を目指します。

## 「まちづくりの将来像」「第五次白石市総合計画」

●将来像（白石の目指すべき姿）  
「市民が共に支え合いながら、生きる力を育み、ふるさと白石に誇りをもてるまち」を将来像として、市民総参画のまちづくりを推進し、次の世代に誇りを引き継ぐことができる白石の実現を目指します。

●まちづくりの3つの分野  
将来像の実現に向けて「人」「暮らし」「環境」をまちづくりの3つの分野として位置付け、新しい時代のまちづくりに果敢にチャレンジしていきます。

●まちづくりの5つの目標  
柱となる政策の基本的な考え方や方向性を示すものです。  
・豊かな感性と人間性を育み、伝統文化を継承するまち  
・安心して子どもを産み育て、心やすらかに暮らせるまち  
・市民が主役になって地域をつくり、交流を楽しむまち  
・産業の活力を生む新しい価値を創造し続けるまち  
・美しい自然を受け継ぎ、安全で快適に過ごせるまち

## 「企業誘致が最重要課題」

雇用や所得の創出など地域活性化への起爆剤として期待されている福岡深谷工業団地が3月に完成しました。

平成23年度の最重要課題として企業誘致に全力で取り組みます。企業における投資環境は、リーマンショック時と比較して、幾分持ち直してはいるものの、まだまだ企業の業況判断には慎重さが見受けられますが、本市の優遇制度や交通インフラなど企業立地環境の積極的なアピールに努め、製造関連企業などの誘致促進に向けて、自身のトップセールスはもちろんのこと、市議会の皆さまとともに、宮城県をはじめ関係機関と連携し、全力で取り組んでまいります。

また、平成23年度からは、情報収集と企業誘致のノウハウを学ぶなど宮城県との連携を強めるため、産業立地推進課に職員を派遣することとしています。さらに、福岡深谷工業団地へのアクセス強化を図るとともに、地域の快適な生活基盤を確保するため、市道鳥越線をはじめとする工業団地関連道路を整備し、企業誘致の促進を図ります。

## 「豊かな感性と人間性を育み、伝統文化を継承するまち」

「感性と人間性」  
人と自然、人と暮らしの営みのなかで育まれる、市民一人一人の個性や感性を大切にし、まちづくりに活かしていきます。

また、かつての結いの精神にみられる支え合いや助け合い、地域の絆を再生していきたいながら、人間性豊かな社会の実現を目指します。  
「文化を継承」  
今に息づいている豊かな生活文化、城下町としての伝統文化などを再評価し、次世代に継承していきながら、ニーズの変化に適合させて、白石のアイデンティティー（白石らしさ）の形成に取り組みします。

●学校教育の充実  
平成22年度繰越事業として、小中学校に配置している教育用コンピュータ410台の更新を行うとともに、理科室と兼用となっている深谷小学校家庭科教室を新築し、学校教育環境を整備します。  
また、個性ある教育環境の充実を図るため、英語教育の充実やアニメなどデジタルコンテンツの活用推進を図ります。

## 「主な事業 企業誘致関連」

●企業立地奨励金  
事業費…2,076万8千円  
製造業などを営む企業者が、市内に工場などの新設、または、増設に要した投下固定資産（土地・家屋・償却資産）に係る固定資産税・都市計画税に相当する額を当該企業者に対して交付します。

●企業立地等に伴う転入者支援補助金  
事業費…60万円  
本市への企業の新規立地や事業所などの集約に伴う転入者が、市内賃貸住宅に入居した場合の家賃の一部について、一人につき月額1万円を上限として3年度間に限り、当該転入者を雇用する企業者に対して交付します。

●福岡深谷工業団地関連道路改良事業  
事業費…1億5,600万円  
市道鳥越線や市道佐久来1号線、市道田中前1号線は、福岡深谷工業団地と国道4号および深谷西地区と深谷東地区を結ぶ基幹道路であるとともに、深谷小学校への通学路、生活道路としても重要な路線です。  
現在も白石インター周辺の工場などへの通勤車両が増加して

## ●生涯学習の推進



市民一人一人の個性や感性を十分に発揮し、生涯学習のまちづくりとなるよう、社会教育施設における主催講座の充実を図るとともに、スポーツ大会を通じて、市民が生涯学習に接する機会を広く設けます。

また、「生涯学習の場」「地域間交流の場」において、市民が一流の音楽家のコンサート鑑賞やプロスポーツ競技を観戦する機会を確保します。  
さらに、アウトリーチ（出前）コンサートなどにより、出演者などとふれあえる機会を創出し、文化・スポーツの振興を図るとともに、各種スポーツ大会などのイベント開催に協力し、交流人口の拡大を図ります。

## ●歴史文化の継承と創造

白石城やすまいるひろばなどを主とした城下町回遊ルートなどを活用し、歴史情緒を体感できる環境の整備に努めます。  
白石城歴史探訪ミュージアムで定期的な企画展示会の開催、武家屋敷で七草の会など、伝統行事の再現を行います。  
白石の歴史、文化の紹介を通じて、市民にはふるさとの誇りを、また、白石を訪れた方々には白石の歴史的魅力を感じる場を提供します。



武家屋敷「七草の会」

## 「安心して子どもを産み育て、心やすらかに暮らせるまち」

「安心」  
安心して子どもを産み育てられる環境や支援体制を充実し、定住人口（生産年齢人口）の拡大を目指します。

また、一人暮らしの高齢者世帯や要介護者などのセーフティネットを充実し、だれもが安心して暮らせる長寿社会の実現に取り組みます。  
「心やすらかに暮らせる」  
市民のための保健・医療・福祉施策を充実し、子どもから高齢者まで、年齢を重ねても生涯心やすらかに暮らせるまちづくりを進めます。

また、生活に身近な地域の支え合いの力を結集し、生きがいと幸福感を味わえるコミュニティの強化に取り組みます。

## ●子育て支援

人口減少に歯止めをかけた定住人口の拡大を図るためには、安心して子どもを産み育てられる環境や支援体制をより一層充実させる必要があります。  
乳幼児の通院、入院にかかる医療費助成制度や不妊治療の医療費の一部を助成する「特定不妊治療費助成事業」を継続しま

## 「安心して子どもを産み育て、心やすらかに暮らせるまち」

す。  
その他にも「赤ちゃん誕生応援事業（妊婦健康診査費助成事業）」を拡充し、妊婦健診14回の助成に加え、新たにヒト白血病ウイルス1型（HTLV-1）抗体検査を追加します。  
保育の充実として、3歳未満児の入所希望が増加していることから、現在、南保育園と西保育園で実施している0歳児保育を北保育園においても新たに開始して、待機児童の解消を図ります。

また、保護者の就労の多様化に対応するため、深谷保育園の保育時間を30分延長するなど、保護者のニーズに合わせた子育て支援の充実を図ります。  
保育園、幼稚園にかかる多世代帯に対する費用の負担軽減などの事業を実施し、子育て家庭の経済的な支援を図ります。

放課後児童クラブは、現在実施中の4カ所のほか、大平地区においても実施します。

大平地区の放課後児童クラブは、地域が実施主体となって運営し、地域全体で児童を支援します。  
また、放課後子ども教室は、世代間交流の場として、地域の高齢者など幅広い世代の方と児童の交流の輪を広げることを目的に今後も継続します。



東北自動車道白石ICに隣接する福岡深谷に工業団地を造成